

市民意識調査の実施について

第2回 長野市都市計画マスタープラン改定専門部会

令和7年5月22日

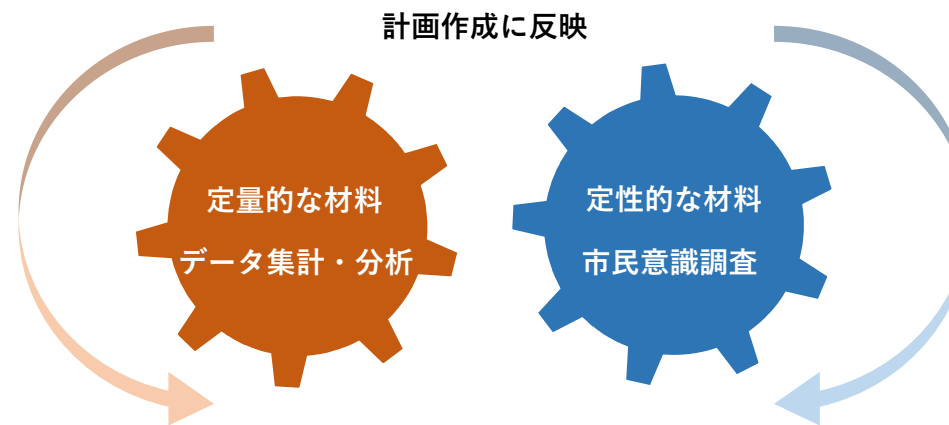
長野市都市整備部 都市計画課

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

調査の目的

計画内容の具体的な検討に先立ち、市民の意識について調査し、計画作成に反映する



市民参画の手法

代表的な手法まとめ

手 法	目 的	対象者
ワークショップ	課題を共有しながら、あるべき姿や解決方法を、皆で対話しながら考えていく	特定少数
意見交換会	テーマについて、皆で対話しながら、アイデアや考え方を出し合う	特定少数
アンケート	ある事柄について、不特定多数の意見及びその傾向を調査する	不特定多数
オープンハウス	情報(まちづくり構想、事業計画など)の提供をした上で、意見等を交換する	不特定少数

目的に応じて手法を選択する必要があるため、アンケート調査を実施する予定

市民アンケート（従来の方法）

資料4、5

対 象：18歳以上の市民3,000人を無作為に抽出
回答率は過去の実績から40～50%を想定⇒統計的に有効なサンプル数
配 布：郵送
回答方法：紙アンケート、又は、WEBアンケートサイトのいずれか

特定の世代を対象としたアンケート（子育て世代、若い世代）

資料6、7

背 景：都市計画マスタープランが見据える、今後20年間の長野市を担っていく世代であり、さまざまな意見をお聞きして、計画に反映する必要性が大きいため。

調査内容：**特定の世代を対象としたアンケートを2種類実施**

- ・ **子育て世代を対象にしたアンケート**（未成年のお子様のいる方を対象）
- ・ **若い世代を対象としたアンケート**（10代～30代の方を対象）

調査方法：QRコードやURLリンクからWEBアンケートサイトにアクセスし回答

周知方法：・ **SNSの活用**

ながのプラス（子育て・生活情報アプリ）

市LINE（フォロワー 約2.8万人）

市X（フォロワー 約1.8万人）

- ・ **子育て施設・市内の学校へアンケート協力を依頼予定**

ながノビ！、こども広場（じゃんけんぽん、このゆびとまれ）

市内の保育園・幼稚園

信州大学（工学部、教育学部）、長野県立大学、長野工業高等専門学校

市立長野高校

- ・ 広報ながの、市HP

市民アンケート

ねらい：全世代から、統計的に信頼のおける数の意見を収集し、計画改定 material となる設問を設定する。前回改定時の市民アンケートと比較し、市民意識の変化を捉える。

構成：回答者自身についての設問（属性、市内の居住歴）
住んでいる地域についての設問（現状の満足度、今後のまちづくりで重要なこと）
市全体についての設問（これから力を入れていくべき施策・まちづくりの方向性）
重点的な課題に対する設問（交通環境や移動手段）

特定の世代を対象としたアンケート

子育て世代を対象としたアンケート

ねらい：市民アンケートを補足するために実施し、子育て環境の現状の満足度、今後の居住地意向についての観点から、子育て世代の意識を把握する。

構成：回答者自身についての設問（属性、市内の居住歴、**家族構成**）
子育て環境についての設問（都市計画の観点から現状の満足度、キーワード収集）
居住場所についての設問（今後の居住意向、居住地選択の条件、キーワード収集）

若い世代を対象としたアンケート

ねらい：市民アンケートを補足するために実施し、日々の暮らし方、今後の居住地意向、将来のまちづくりの対する思いについての観点から、若い世代の意識を把握する。

構成：回答者自身についての設問（属性、市内の居住歴、**家族構成**）
日々の暮らしについての設問（通勤・通学の移動手段、学校・職場外の過ごし方）
居住意向についての設問（住みやすさに関する意識、今後の居住意向）
まちづくりに対する関心や思いについての設問（キーワード収集）